堀　圭三（ほり　けいぞう）

職名・職位　学科長・教授

担当科目　社会学と社会システム
人間関係論

学　　位　1990 年 3 月　文学修士
（立正大学）

研究分野	社会学	
研究キーワード	コミュニケーション　贈与	
研究業績		
論文等	2014年 3月	「『返礼の義務』の解釈について」（単著、保育・教育・福祉研究 第12号）
	2016年 3月	「『コンテクストのずれ』についての研究ノート」（単著、保育・教育・福祉研究 第14号）
	2018年 3月	「敬意表現の文化差についての研究ノート」（単著、保育・教育・福祉研究 第16号）
	2022年 3月	「ベイトソンの『文脈』の概念について」（単著、人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 19・20合併号）
社会的活動		
略歴	1987年 3月	立正大学文学部社会学科卒業
	1990年 3月	立正大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了
	1993年 3月	立正大学大学院文学研究科社会学専攻後期博士課程単位取得後満期退学
	1993年 4月	立正大学大学院研究生（1994年3月まで）
	1993年 4月	宇都宮高等看護専門学校兼任講師（1995年3月まで）
	1994年 4月	立正大学文学部社会学科助手（1999年3月まで）
	1996年 4月	日本大学理工学部兼任講師（2001年3月まで）
	1999年 4月	立正大学兼任講師（2019年3月まで）
	2001年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻専任講師（2009年3月まで）
	2005年 4月	栃木県衛生福祉大学校兼任講師（現在に至る）
	2009年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻准教授（2017年3月まで）
	2012年 4月	那須看護専門学校兼任講師（現在に至る）
	2017年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻教授（現在に至る）
	2021年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科長（現在に至る）
所属学会	日本社会学会　日本社会学史学会	
学生・社会へのメッセージ	井上ひさしさんの言葉「難しいことを優しく、優しいことを深く、深いことを面白く…」を授業で実践していきたいと思います。	

益川（ますかわ）　順子（じゅんこ）

職名・職位　介護福祉専攻主任・教授

担当科目　こころとからだのしくみ
発達と老化の理解
認知症の理解　医療的ケア

学　　位　2005年3月　修士（社会学）
（東洋大学）

研究分野	看護学　社会学　社会福祉学	
研究キーワード	医療社会学　医療福祉　小児看護学	
研究業績		
著書	2018年 6月	『介護福祉士国家試験模擬問題集2015～2023』（分担、中央法規）
	2019年 6月	『介護教育方法論』（分担、弘文堂）
	2020年 6月	『介護用語集』（分担、ミネルヴァ）　他9件
論文等	2018年 1月	「職業イメージ（当事者意識）とストレス対処（自己評価）の関連～対人援助職の長期就労継続要因」（共著、保育と保健 第24巻第1号pp52-60）
	2019年 3月	「自尊感情と他者理解の関連―就労定着と離職予防の要因」（共著、佐久大学信州短期大学部紀要 第30巻pp1-5）
	2020年 3月	「カウンセリング技法『旅人ワーク』の受講満足度と利用意向度」（共著、佐久大学信州短期大学部紀要 第31巻pp1-11）
	2022年 3月	「On Evaluation of a Psychological Counseling Workbook, “TABIBITO WORKS Volume1”-Penil Tweet Projection Test(PTPT)-」（共著、人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・20合併号pp13-20）
	2023年 4月	「『子どもの健康と安全』のテキストにおける感染予防の取り扱いについて―テキストの内容分析から―」（共著、人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第21号 pp1-10）　他3件
社会的活動	1999年10月	国際小児医療活動（1999年12月まで）Educational Program：Chang Gung Memorial Hospital, University of Rotterdam Military Hospital Kuwait, COMPRU Misericordia Hospital (Edmonton) and University of Alberta The International Craniofacial Institute Cleft Lip and Palate Treatment Center Mexico General Hospital
	2002年 8月	英国CJD患者家族のソーシャルサポート調査派遣（National Prion Disease Clinic at St Mary's Hospital, CJDSupport Network, The National Creutzfeldt-Jakob Disease Surveillance Unit），CJD設立準備室委員
	2016年 8月	栃木こども未来創造大学講座講師（栃木県教員委員会）（2019年まで）
	2018年 8月	とちぎグローバル人材育成プログラム大学共通科目講師（栃木県）（2021年まで）
	2018年10月	大学コンソーシアムとちぎ学生活動支援事業（栃木県）（2021年まで）
	2019年 6月	宇都宮市民大学公開講座講師
	2021年 4月	一般社団法人臨床社会薬学研究所客員研究員（現在に至る）
	2022年 4月	栃木県宇都宮市住生活マスタープラン委員（宇都宮市）（2023年まで）　他2件
略歴	1999年 3月	東洋大学社会学部社会学科卒業
	2005年 3月	東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修了
	2006年 3月	東洋大学社会学研究科福祉社会システム専攻科研究科修了
	2001年 4月	東邦大学医学部看護学科助手（2002年8月まで）
	2006年 4月	桜美林大学健康福祉学群保育専修兼任講師（現在に至る）
	2006年 4月	東京都南多摩保健所感染症対策調査研究（2008年3月まで）
	2011年 4月	文京学院大学人間学部兼任講師（2020年3月まで）
	2013年 4月	二葉看護学院看護学科兼任講師（現在に至る）
	2014年 4月	東京学芸大学教育学部幼稚教育課程兼任講師（2019年3月まで）
	2014年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科専任講師（2020年3月まで）准教授（2021年3月まで）
	2017年 4月	京都女子大学家政学部生活福祉学科兼任講師（2022年まで）
	2018年 4月	浦和大学子ども学部兼任講師（現在に至る）
	2018年 4月	有明教育芸術短期大学兼任講師（現在に至る）
	2021年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科教授（現在に至る）　他4件、看護師実務経験3件
所属学会	日本保育園保健学会，日本介護福祉学会，日本社会福祉学会，日本社会医学会，日本科学看護学会	
学生・社会へのメッセージ	私は、その人らしい「健康で文化的な生活」を実現できる医療や看護・介護を目指しています。そのために、皆さんの持っている力を引き出し、力づけ、共に楽しく学んでいきたいと思っています。	

江田（えだ）　郁夫（いくお）

職名・職位　教授

担当科目　歴史学
キャリアデザイン

学　　位　2003年3月　博士（文学）
（東北大学）

研究分野　歴史学

研究キーワード　1　日本中世史　2　足利政権と室町幕府・鎌倉府　3　中世下野武士団

研究業績

著書	2007年 3月	『栃木県の歴史散歩』（共編著、山川出版社）
	2008年11月	『室町幕府東国支配の研究』（単著、高志書院）
	2009年11月	『下野の中世を旅する』（単著、随想舎）
	2010年11月	『中世東国の街道と武士団』（単著、岩田書院）
	2011年10月	『足利尊氏再発見』（共編著、吉川弘文館）
	2011年10月	『下野宇都宮氏』（編著、戎光祥出版）
	2012年 6月	『下野長沼氏』（単著、戎光祥出版）
	2013年 3月	『北関東の戦国時代』（共編著、高志書院）
	2014年 2月	『戦国大名宇都宮氏と家中』（単著、岩田書院）
	2016年 2月	『足利尊氏―激動の生涯とゆかりの人々―』（共編著、戎光祥出版）
	2020年 1月	『中世の北関東と京都』（共編著、高志書院）
	2020年 1月	『中世宇都宮氏―一族の展開と信仰・文芸―』（編著、戎光祥出版）
	2020年 2月	『戦乱でみるとちぎの歴史―「とちぎ」の源流を探る―』（共編著、下野新聞社）
	2021年 5月	『奥大道―中世の関東と陸奥を結んだ道―』（共編著、高志書院）
論文等	2021年10月	「室町期東国の政治・社会秩序」（単著、芳澤元編『室町文化の座標塾』、勉誠出版）
	2023年 8月	「関東惣無事と家康・広照」（単著、栃木県歴史文化研究会編『歴史と文化』32号）

社会的活動

2015年 3月	栃木市文化大使（現在に至る）
2015年 4月	「よみがえれ！宇都宮城」市民の会理事（現在に至る）
2020年 8月	栃木市文化財保護審議会委員（現在に至る）
2021年 4月	（公財）とちぎ男女共同参画財団理事（現在に至る）
2023年 4月	さくら市ふるさとゆかりの偉人マンガ製作実行委員会委員

略歴

1983年 3月	東北大学文学部国史学科卒業
1986年 3月	東北大学大学院文学研究科史学専攻博士課程前期修了
2003年 3月	東北大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期修了
1986年 4月	栃木県立田沼高等学校教諭（1990年3月まで）
1990年 4月	栃木県立鹿沼高等学校教諭（1996年3月まで）
1996年 4月	栃木県立文書館指導主事（2002年3月まで）
2002年 4月	栃木県立宇都宮北高等学校教諭（2009年3月まで）
2009年 4月	栃木県立博物館学芸部人文課特別研究員（2012年3月まで）
2012年 4月	栃木県立博物館学芸部人文課長（2013年3月まで）
2013年 4月	栃木県立博物館学芸部長補佐兼人文課長（2014年3月まで）
2014年 4月	栃木県立博物館学芸部長（2020年3月まで）
2020年 4月	栃木県立博物館副館長（2021年3月まで）
2021年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科教授（現在に至る）

所属学会　日本歴史学会　東北史学会　日本古文書学会　地方史研究協議会　栃木県歴史文化研究会

学生・社会へのメッセージ　「過去を広く深く見渡すことができれば、未来を広く深く見渡すことができる」(英元首相チャーチル)。歴史をつうじて、過去だけでなく、現在、そして未来について一緒に考えたいと思います。

宮脇（みやわき）　文恵（ふみえ）

職名・職位　教授

担当科目　社会保障Ⅰ・Ⅱ　人間の尊厳と自立
ソーシャルワーク演習　高齢者福祉
ソーシャルワーク実習指導

学　　位　1995 年 3 月　修士（社会福祉学）
（日本社会事業大学）

研究分野　社会福祉学

研究キーワード　地域福祉　福祉教育

研究業績

著書	2009年 6月	『相談援助演習　教育用手引き書』（共著、中央法規出版）
論文等	2000年 3月	「高等学校における社会福祉専門教育の在り方に関する考察(その2)」：『精神保健福祉』授業モデルとその実践を通して」（単著、純心現代福祉研究紀要 第5号）
	2005年 3月	「地域福祉計画策定過程における質的調査実施とその効果について：長崎純心大学と琴海町との共同プロジェクトから」（単著、純心現代福祉研究紀要 第9号）
	2005年12月	「大学側から見た介護等体験の課題」（単著、〈特集〉「介護等体験」の学習支援システムの構築)日本福祉教育・ボランティア学習学会年報 第10号）
	2013年 3月	「相談援助実習指導における少人数制を活用した授業運営と評価方法に関する研究」（単著、大妻女子大学 人間生活文化研究 第23号）
	2014年 3月	「社会福祉士養成における相談援助実習指導の評価方法に関する研究:―ルーブリック評価法の応用可能性について―」（単著、大妻女子大学 人間生活文化研究 第24号）
	2021年 4月	「大学での教員養成における介護等体験事業の実施状況と課題Ⅱ―教員養成校教員へのインタビュー調査を通して―」（単著、日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 Vol.37）
	2022年 3月	「介護等体験の福祉教育としての可能性に関する一考察～短大における社会福祉施設体験に対する学生アンケートの分析を通して～」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・20合併号）

社会的活動

2012年 3月	神奈川県綾瀬市社会福祉協議会地域福祉活動計画オブザーバー（現在に至る）
2014年 3月	逗子市社会福祉協議会福祉教育チーム　座長（現在に至る）
2015年 3月	社会福祉法人城山学園　児童養護施設城山学園　理事（2017 年 3 月まで）
2015年 3月	逗子市社会福祉協議会　理事（現在に至る）
2016年 3月	逗子市･葉山町コミュニティソーシャルワークフォローアップ研修講師(現在に至る)
2017年 3月	社会福祉法人城山学園　児童養護施設城山学園　評議員（現在に至る）
2020年 3月	佐野市社会福祉協議会　アドバイザー（2023年3月まで）

略歴

1991年 3月	東京学芸大学教育学部卒業
1995年 3月	日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了
1995年 4月	横浜国際福祉専門学校専任教員（1999年3月まで）
1996年 4月	長崎純心大学人文学部現代福祉学科助手(2000年3月まで)
1999年 4月	長崎純心大学人文学部現代福祉学科講師(2005年3月まで)
2000年 4月	長崎純心大学人文学部現代福祉学科助教授・准教授(2009年3月まで)
2005年 4月	有明教育芸術短期大学　子ども教育学科非常勤講師(2022年3月まで)
2009年 4月	全国社会福祉協議会中央福祉学院社会福祉士養成課程非常勤講師（現在に至る）
2011年 4月	法政大学人間環境学部非常勤講師（現在に至る）
2013年 4月	明治学院大学非常勤講師(現在に至る)
2019年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科教授（現在に至る）

所属学会　日本社会福祉学会　日本地域福祉学会　日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本教育心理学会

学生･社会へのメッセージ　自分のことのように、他者のことを想像しようとする、そんな社会をつくっていきましょう。

小野（おの）　篤司（あつし）

職名・職位　准教授

担当科目　コミュニケーション技術
障害の理解　障害者福祉
地域福祉と包括的支援体制

学　　位　2001年9月　修士（政治学）
（聖学院大学）

研究分野　社会福祉学

研究キーワード　社会福祉政策学、地域福祉、社会福祉学一般

研究業績

著書

2018年 9月	『福祉ライブラリ　相談援助』（共著、建帛社）
2019年 1月	『地域福祉の原理と方法　第3版』（共著、学文社）
2021年 5月	『入門　地域福祉と包括的支援体制』（共著、ミネルヴァ書房）　他5件

論文等

2019年 3月	「A町地域福祉活動計画の策定に向けた今後の課題」（単著、保育・教育・福祉研究 第17号）
2020年 3月	「地域福祉計画策定委員会における委員の役割や問題意識の共有について―第１回策定委員会を通して―」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第18号）
2022年 3月	「地域福祉計画の策定過程における住民参加―茨城県古河市の事例―」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・20号合併号）
2022年 3月	「居場所交流会の効果について―A県B市の事例―」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・20号合併号）
2023年 3月	「『子どもの人権擁護』に関する現状と課題―運営適正化委員会事業報告の検討から―」（共著、宇都宮共和大学子ども生活学研究 第21号）
2024年 3月	「社会福祉法人に求められる地域における公益的な取組に関する研究)」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第22号）

他10件

社会的活動

2014年 4月	宇都宮市地域密着型サービス運営委員会会長（現在に至る）
2015年 4月	宇都宮市地域包括支援センター運営協議会委員（現在に至る）
2018年 4月	鹿沼市地域包括支援センター運営協議会委員（現在に至る）
2019年 4月	栃木県運営適正化委員会委員（現在に至る）
2019年 4月	栃木県介護保険審査会委員（2022年～会長職務代行、現在に至る）
2019年 7月	宇都宮市国民健康保険運営協議会委員（現在に至る）
2019年 9月	古河市地域福祉計画策定委員会委員（2021年3月まで）
2020年 7月	コミュニティワーク推進モデル事業アドバイザー（2022年3月まで）
2022年 3月	栃木県ボランティアネットワーク化推進事業研修講師
2022年 4月	古河市重層的支援体制整備事業アドバイザー（2023年3月まで）
2022年 9月	栃木県令和４年度新任・中堅民生委員児童委員研修会講師
2023年 2月	栃木県「いちごハートねっと事業」「あんしん支援事業」関連研修会講師
2023年 4月	宇都宮市指定管理者選考専門委員（2024年3月まで）
2023年 5月	栃木県とちぎ福祉プラザ指定管理者選考委員会委員長
2023年12月	小山市社会福祉協議会間々田地区社協「地域福祉講演会」講師
2024年 2月	いちごハートねっと事業令和5年度「あんしん支援事業」関連研修会講師
2024年 2月	令和5年度地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会講師
2024年 2月	第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会アドバイザー（現在に至る）　他12件

略歴

2001年 9月	聖学院大学大学院　政治政策学研究科政治政策学専攻修士課程修了
2004年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科助手（2008年3月まで）
2008年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科助教（2012年3月まで）
2012年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科専任講師（2016年3月まで）
2016年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科准教授（現在に至る）

所属学会　日本地域福祉学会、日本社会福祉学会、日本職業リハビリテーション学会、日本地域政策学会、社会政策学会、生活困窮者自立支援全国ネットワーク

学生・社会へのメッセージ　誰もが安心、安全、幸福に生活できる地域社会にむけて、どんな課題があるのか、自分たちにできることは何か、考えていきたと思います。

勝浦（かつうら）　美智恵（みちえ）

職名・職位　准教授

担当科目　現代社会と福祉
ソーシャルワークの基盤と専門職
ソーシャルワークの理論と方法

学　　位　2008 年 3 月　修士（社会福祉学）
（東京福祉大学）

研究分野　社会福祉学

研究キーワード　ソーシャルワーク

研究業績

論文等

2018年 3月	「質問づくりの演習についての実践報告」（単著、保育・教育・福祉研究 第 16 号）
2019年 3月	「障害者の余暇活動の現状と課題」（単著、保育・教育・福祉研究 第 17 号
2020年 3月	「社会福祉士養成課程の演習教育の動向と『質問づくり』のグループワークの授業実践」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第 18 号）
2023年 3月	「日本の高等教育機関における発達障害の学生への進路支援の現状と課題」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第 21 号）

社会的活動

2018年 8月	子ども未来創造大学講師
2022年10月	栃木県社会福祉法人経営者協議会研修会講師

略歴

2000年 3月	東洋大学社会学部社会福祉専攻卒業
2008年 3月	東京福祉大学大学院社会福祉学専攻博士課程前期修了
2000年 4月	東京都文京区立白山東児童館　育成室(学童保育)非常勤職員（2002年3月まで）
2002年 4月	東京都足立区社会福祉協議会「権利擁護センターあだち」非常勤職員（2003年3月まで）
2003年 4月	社会福祉法人フロンティア豊島「特別養護老人ホーム山吹の里」介護職員（2004年3月まで）
2004年 4月	宇都宮短期大学　人間福祉学科助手　（2008年3月まで）
2008年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻助教（2014年3月まで）
2014年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻専任講師　（2018年3月まで）
2018年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科社会福祉専攻准教授　（現在に至る）

所属学会　日本社会福祉学会　日本福祉教育・ボランティア学会

学生・社会へのメッセージ

社会福祉を学んできたことが、自分が生きるうえでとても役に立つと感じています。
学生の皆さんが、講義・演習・実習で、自分の学びが価値あるものだと感じられるように、心掛けて従事しております。

北爪（きたづめ）　あゆみ

職名・職位　専任講師

担当科目　医療秘書　医療事務論
医療事務実践演習
医療事務関連法規

学　　位　2007年3月　学士（家政学）
（東京家政大学）

研究分野　社会福祉学

研究キーワード　医療・福祉政策

研究業績

著書	2020年11月	『これからの「共生社会」を考える　多様性を受容するインクルーシブな社会づくり』（共著、福村出版）
論文等	2019年 3月	「医療・福祉分野における福祉専門職の専門性に関する文献研究」（共著、保育・教育・福祉研究 第17号）
	2022年 3月	「医療に関する用語の認知調査（研究ノート）」（単著、人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 19・20合併号）

社会的活動

2017年 8月	日本人間関係学会　理事（2018年8月まで）
2018年 8月	とちぎ子ども未来創造大学公開講座講師（2022年8月まで）
2019年 7月	宇都宮市民大学公開講座講師

略歴

2007年 3月	東京家政大学家政学部造形表現学科卒業
2009年 3月	大原医療秘書福祉専門学校大宮校卒業
2009年 4月	大原医療秘書福祉専門学校大宮校専任教員（2012年3月まで）
2012年 4月	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校専任教員（2016年3月まで）
2012年 4月	大原医療秘書福祉保育専門学校大宮校兼任教員（2016年3月まで）
2014年 4月	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校高崎校兼任教員（2016年3月まで）
2016年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科専任講師（現在に至る）
2023年 4月	千葉商科大学人間社会学部非常勤講師（現在に至る）

所属学会　日本福祉図書文献学会、日本老年社会化学会、日本共生社会推進協会

学生・社会へのメッセージ

医療事務とは、窓口応対を中心に来院される多様な患者様と医療機関、多職種をつなぐ役割を担っています。想像力と思いやりを持ち、臨機応変な対応力、迅速性・正確性を意識した事務力の向上を目指すとともに、信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを磨きのばしていければと思っております。よき医療人とは何かをともに考え、育んだ力を社会で発揮できるよう一緒に取り組んでまいりましょう。

佐藤（さとう）　大輔（だいすけ）

職名・職位　専任講師

担当科目　介護の基本Ⅰ　介護過程Ⅰ
生活支援技術Ⅰ

学　　位　2008年3月　学士（福祉心理学）
（福島学院大学）

研究分野　社会福祉学

研究キーワード　介護　福祉

研究業績

論文等

2024年 3月	「介護施設で新卒の介護職員が直面する課題の探求：～2つの事例によるKH Coderを用いた分析～」（単著、人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 22号）

社会的活動

2023年 6月	令和5年度 第８回栃木県高校生介護技術コンテスト 審査員
2023年 8月	令和5年度 関東地区福祉研究発表会 審査員

略歴

2003年 3月	福島学院短期大学保育科第一部卒業
2004年 3月	福島学院短期大学専攻科福祉専攻第一部卒業
2008年 3月	福島学院大学福祉学部福祉心理学科卒業
2019年 9月	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻中途退学
2004年 4月	会津坂下町立ばんげ保育所保育士（2006年3月まで）
2008年 4月	福島学院大学短期大学部保育科第一部副手（2010年3月まで）
2010年 4月	福島県社会福祉事業団福島県からまつ荘援助員（2015年3月まで）
2015年 4月	福島県社会福祉事業団福島県飯坂ホーム援助員（2015年12月まで）
2016年 1月	福島学院大学付属認定こども園保育教諭（2016年3月まで）
2016年 4月	福島学院大学福島駅前キャンパス事務室事務主任（2019年3月まで）
2019年 4月	福島学院大学入試広報課事務主任（2021年3月まで）
2021年 4月	郡山健康科学専門学校専任教員（2023年3月まで）
2023年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科介護福祉専攻専任講師（現在に至る）

所属学会　日本社会福祉学会　日本介護福祉士会　日本応用心理学会

学生・社会へのメッセージ　福祉は、私たち全員が対象となり、お世話になる可能性があります。その上で、福祉に携わる者が身に付けるべき知識や技術とは何なのか、一緒に考え、学び、深めていきたいと考えています。